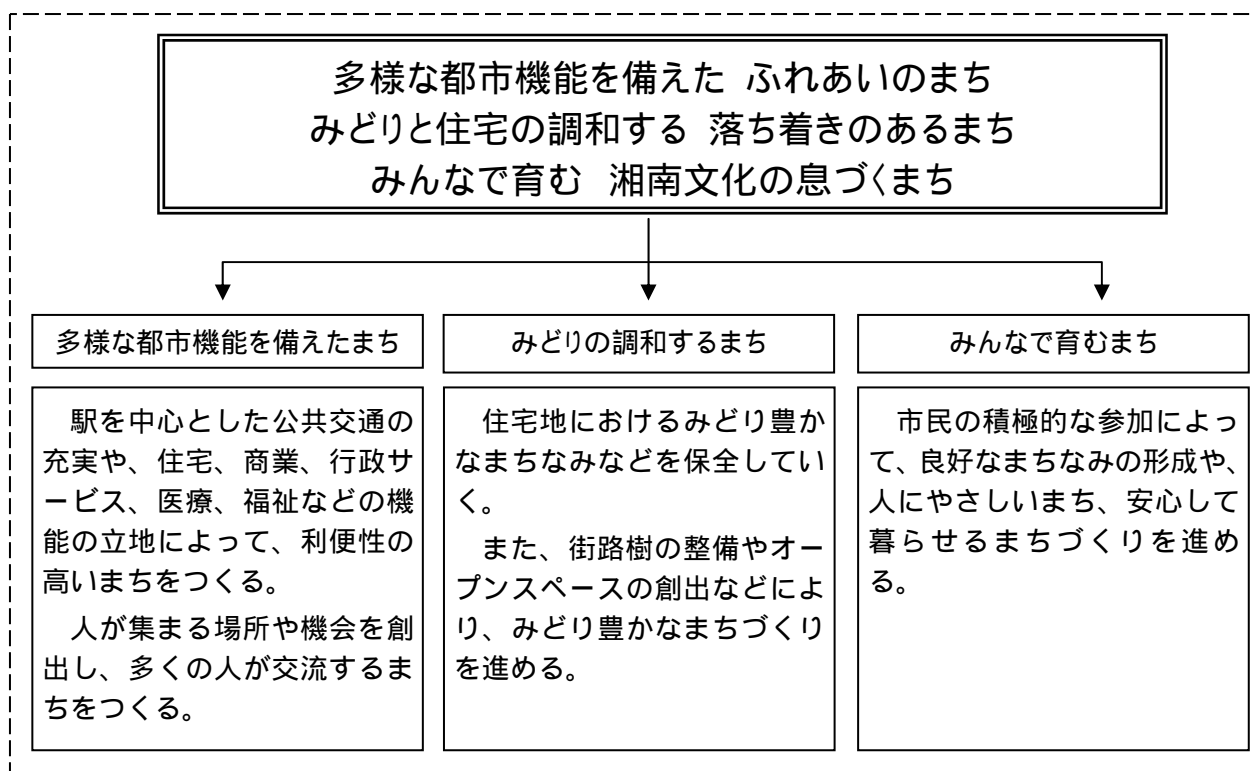


### 3 辻堂駅周辺のまちづくりの目標

#### (1) 辻堂駅周辺の将来像

辻堂駅周辺のまちづくりを進めていくうえで、目指すべき将来像を定める。

辻堂駅周辺においては、市街地の再整備や道路ネットワークの整備等を積極的に図っていく駅隣接地域と、静かな住環境を保全することが求められている住宅地域があるため、それぞれの地域特性を考慮した3つの将来像を掲げる。



## (2) 辻堂駅周辺における市街地の基本的構成

辻堂駅周辺市街地について、おおまかな土地利用のゾーン配置などに関する「まちの基本構成」を設定する。

### ゾーン配置

複合市街地	駅周辺の商業・業務施設、福祉、医療、生涯学習施設など多様な都市機能と住宅の共存を図る地域とする 既成の住宅地においては、良好な都市住宅と公共施設、医療・福祉施設等の共存する市街地の形成を図る。
住宅市街地	日照や緑化に配慮しながら、中低層住宅が立地する閑静な郊外市街地の形成を図る。 なかでも、低層住宅地として、これまでに良好なまちなみが形成されている地区については、これを保全する。 また、国道などの幹線道路の沿道においては、沿道サービス施設などの立地も踏まえ、周辺地域と調和する市街地の形成を図る。
自然環境保全ゾーン	湘南海岸及び赤羽根丘陵の緑地については、レクリエーション機能や防災機能などを併せ持つゾーンとして保全を図る。

### 拠点

交通結節拠点	辻堂駅関連施設については、駅施設の改善を働きかけていくとともに、広場空間や駅を中心とした歩行者動線の確保を図る。
みどりの拠点	海岸沿いの汐見台公園などについては、辻堂駅西口周辺地区のシンボルとなるみどり空間を形成する。

### 軸

広域連携軸	新湘南バイパスやJR東海道本線を位置づけ、都市と都市との活発な交流を図る広域連携軸とする。
みどりの軸	緑の拠点である湘南海岸周辺及び赤羽根丘陵と交通結節拠点である辻堂駅までを結ぶ小和田辻堂線及び市境道路を位置付け、みどり豊かな歩行者空間を形成する。
まちの骨格となる道路	幹線道路による周辺都市との連携を促進させるとともに、地区の骨格の形成や、地区内移動の円滑化を図る。

辻堂駅周辺におけるまちの基本的構成

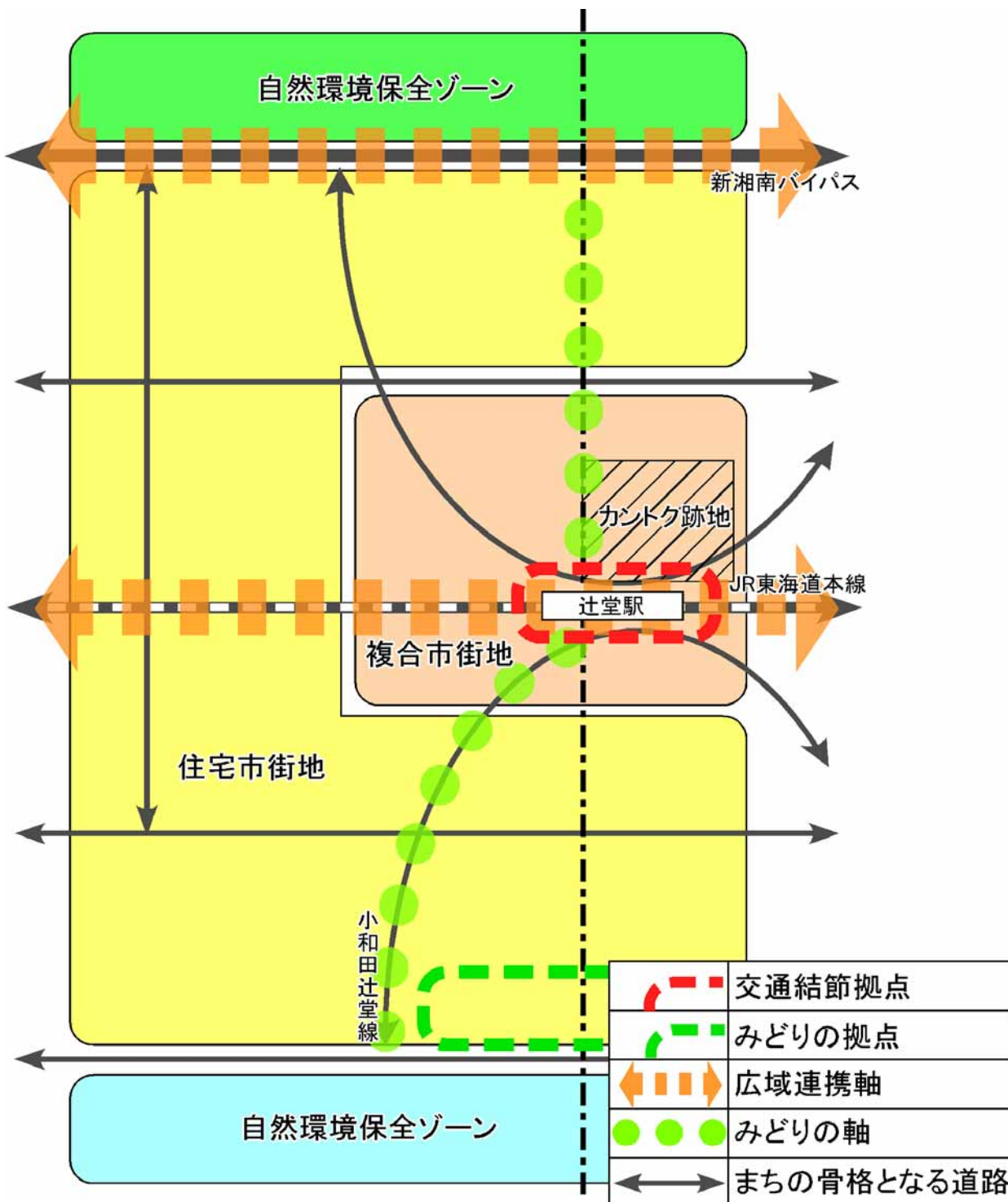


図 3.1 辻堂駅周辺におけるまちの基本的構成